

西部ブロック勉強会報告書(平成24年-3)

日時	平成24年7月27日(金曜日) 19:00～21:00
場所	広島市まちづくり市民交流プラザ 研修室C
参加施設	矢野おりづる園、済生会広島病院、大野浦病院、太田川病院 メディカルパーク野村病院、JA広島総合病院 荒木脳神経外科病院、県立広島病院 (合計19名)
<p>I. 小児症例</p> <p>「構音がなかなか般化しない機能性構音障害の1例」 発表者:JA広島総合病院 上田雅美 方法:動画をまじえパワーポイントにて発表。資料配布。グループワーク。 内容:発表、グループワーク・各グループの発表。 検討事項:「今後の訓練プログラム」に関するアドバイス。 ・3～6人の4グループでグループワーク実施し、各自意見をまとめ発表。 ・各グループより、今後の訓練プログラムの提案。 ・小児対象のSTより機能性構音障害に関するアドバイス。</p> <p>II. 成人症例</p> <p>「皆さんどうしてですか? -NST活動を通して-」 発表者:荒木脳神経外科病院 水戸裕香 方法:パワーポイントにて発表。資料配布。グループワーク。 内容:発表、グループワーク・各グループの発表。 情報提供依頼内容:「嚥下機能に問題がないがNST対象となる患者様への対応」 「栄養補助食品の種類」 ・6人前後の3グループで、各施設での取り組みや現状を報告。 ・各グループより、食事に対する工夫や考え方、おすすめの栄養補助食品情報提供。</p> <p>III. 今後の改善点</p> <ol style="list-style-type: none">1. 前回の反省点を元に、症例検討会案内に、発表症例に関する情報を提示。 →新たに参加される施設も増えた為、事前の情報提供は徹底。参加者数の増加には至らない。2. グループに分かれる際の声かけ・誘導が不十分であった。 →他施設の意見が聞けるよう、適度に声かけ・誘導し、グループをわかる。3. 参加施設に偏りがある為、ある程度の施設が会場に到着するまで開始を待つ必要があり、待機時間が長い参加者がいた。 →多くの施設に参加していただけるよう、内容の検討・広報に努める。	
次回日程	平成24年9月7日

文責:水戸裕香